

令和3年度 学校教育の努力点計画

令和3年4月1日

1 研究主題

確かな学力を身に付け、主体的に学習に取り組む児童の育成
～基礎的・基本的な力の定着を目指して～

2 研究のねらい

本校では昨年度まで、道德の時間を中心にした学校教育の努力点推進に取り組んできた。これまでの実践で、自己を見つめ、他者の考えを尊重するといった対話活動を重視することで、思いやりの心を育むことができた。また、ペアやグループでの話し合い活動において、意見交換を活発に行い、相手の思いを受け入れる姿勢を育むことができ、一定の成果を得られた。

しかし、話し合い活動において、自分の思いを表現したり、まとめたりすることに苦手意識をもつ児童が多く、その結果、主体的に学ぼうとする姿勢が継続しないことが課題として見られた。これは、自分の考えをまとめるための語彙力が足りていないことや、授業時間の中で十分な時間が取れていないこと等が理由として考えられる。

そこで今年度は、児童がこれまで以上に主体的に学習に取り組むことができるよう、様々な学習場面で必要とされる基礎的・基本的な力の定着を目指し、確かな学力を身に付けさせていきたいと考える。

本校では、主体的に学習に取り組む姿を、「さらに学習して身に付けたいこと・次時に知りたいことを自分の言葉でまとめられる姿」と定義し、以下の手立てで実践を進めていく。

3 研究のねらいに迫るための手立て

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">① 児童自らが目標をもてるような授業づくりの工夫② 学習のルールの明確化 |
|---|

① 児童自らが目標をもてるような授業づくりの工夫

児童が確かな学力を身に付け、主体的に学習に取り組むためには、めあてや振り返りの時間を設定することが不可欠である。そこで今年度は、「なかまなビジョン」を視野に入れた授業づくりを進めていく。そして、「各教科等の学習を進めていくための基になる力」を、基礎的な力と捉え、年間を通して向上させていく。この基礎的な力を向上させていくことによって、児童一人一人が、自己の学びの成果や達成度を知り、次の学習に向けた意欲を高めていけると考える。また、基礎的な力の向上に伴って、自分の言葉でまとめる際の負担も取り除いていけると考える。

実践においては、めあてや振り返りの時間を設定するのはもちろん、児童が自己の目標をもつことができるような指導を心掛ける。

② 学習のルールの明確化

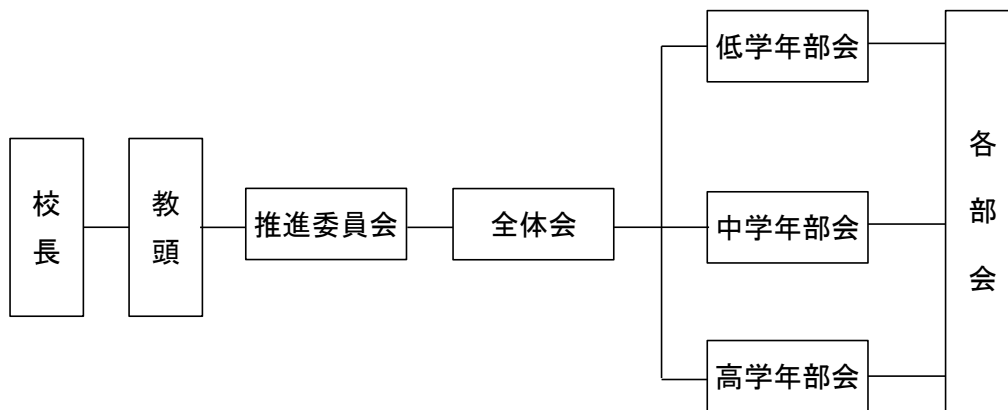
主体的に学習に取り組むためには、学級や学年全体で設定した共通のルールを、意識することが重要である。「確かな学力を身に付けるための基になる習慣」を、基本的な力と捉え、実践を進めていく。今年度は特に、自分の考えが相手に伝わるように声の大きさを意識して最後まで話すことや、発表者の意見を最後まで聞くことを重視する。また、学年によって共通のルールも設定し、習慣化を図りたい。

4 実践の方法と評価

- 各学年で重点教科を設定し、低・中・高学年部会で実践を進めていく。
- 各部会の代表者が、代表授業を行う。代表授業については、低・中・高学年部会で事前・事後検討会を行い、指導案を作成する。代表授業は、部会の先生は参加する。代表授業の授業日は原則として、低学年は木曜3限、中学年は火曜6限、高学年は金曜6限に設定する。
- 各担任で一回の公開授業を行う。公開授業日はできるだけ多くの先生に公開できるように日程を調整する。授業への参加は自由とする。また、曜日や時間も自由とするが、できるだけ多くの先生に公開できるように設定するのが望ましい。
 - ・ 公開授業は二学期までに行い、学年内で同じ学期に偏らないように調整する。
 - ・ 公開授業を行う5日前までに全職員に周知をし、略案形式の指導案を配布する。
- 授業参観で、保護者や地域に公開する。(6月)
- 保護者アンケート・児童アンケート(各2回)、教職員アンケート(1回)を行い、実践方法や手立てが有効であったかを評価する。

5 研究の組織

研究を推進するために、以下のような研究組織を構成する。具体的な研究推進にあたって、教務主任と努力点推進委員で推進委員会を組織し、実践を進めていく。



6 年間計画

学期	月	日	曜日	会名	内容
1	4	7	水	全体会	研究計画の検討
		8	木	推進委員会	授業実践について※4月下旬の方がよいかも
	5	17	月	推進委員会	授業実践について
	6	10	木	推進委員会	「中間まとめ」について検討
2	8				研究推進校への視察、文献研究、資料の収集
	9	2	木	推進委員会	中間報告会に向けて
	10	7	木	全体会	中間報告会
	11	18	木	推進委員会	2学期の反省と3学期実践について検討
3	1	7	金	推進委員会	「年間のまとめ」について検討
	2	7	月	全体会	最終報告会
		21	月	推進委員会	次年度の研究計画の検討

※ 学年会は、学年でその都度実施する。

※ 必要に応じて、低中高学年部会、臨時の推進委員会、臨時の全体会を開く。